

## 第3回情報セキュリティ格付けセミナー

# BCPコンサルティングによる 第三者証明書活用について

2012年10月26日

NKSJリスクマネジメント株式会社  
落合正人

# はじめに NKSJグループとNKSJリスクマネジメント

## NKSJホールディングス

NKSJホールディングスは、  
損保ジャパンと日本興亜損保を  
傘下に持つ持株会社として、  
2010年4月1日に誕生しました。

NK : NIPPON KOA  
SJ : SOMPO JAPAN



(株)損害保険ジャパン  
日本興亜損害保険(株)  
セゾン自動車火災保険(株)  
そんぽ24損害保険(株)

NKSJひまわり生命保険(株)  
損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株)



社 名 : NKSJリスクマネジメント株式会社  
(英文表記 NKSJ Risk Management,Inc.)  
設 立 : 1997年11月  
2010年11月  
株式会社損保ジャパン・リスクマネジメントと  
エヌ・ケイ・リスクコンサルティング株式会社が  
事業統合  
本社所在地 : 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1  
エステック情報ビル  
TEL 03-3349-4330 FAX 03-3349-4677  
資 本 金 : 3,000万円  
社 員 数 : 300名  
U R L : <http://www.nksj-rm.co.jp>

損保ジャパン海外ネットワーク  
日本興亜損保海外ネットワーク

アセットマネジメント事業  
ヘルスケア事業  
確定拠出年金事業

NKSJリスクマネジメント — リスクコンサルティング事業

(2012年4月1日現在)

- 事業継続活動の着手時は、「自社の場合は、何のためにBCPを策定するのか?」、「BCPを策定・準備することが、自社にとってどのような意味合いがあるのか?」を改めて整理することから始まる
- 事業継続の活動は、会社の経営方針の延長の活動と位置付ける

何のためにBCPを策定・準備するのか?

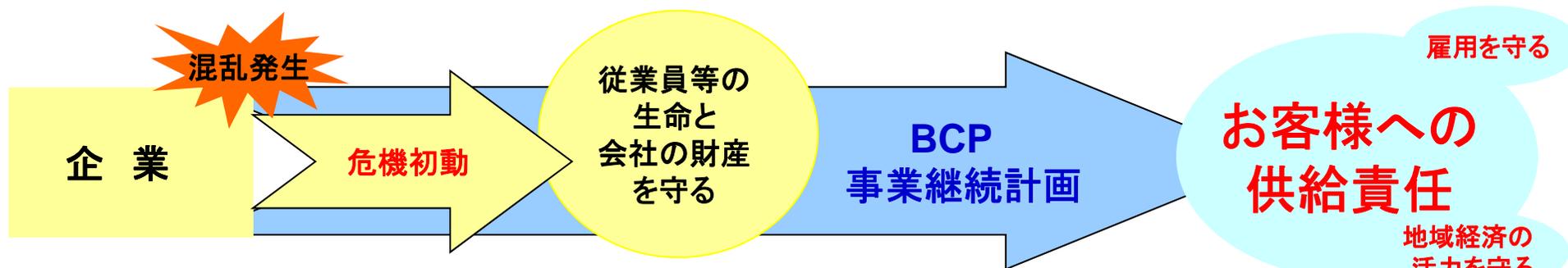
人命の安全を  
守るため

従業員の雇用を  
守るため

供給責任を果たし、  
お客様からの信用を  
守るため

地域経済の活力を  
守るため





	危機初動 	BCP 
視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人命の安全確保</li> <li>■ 物的被害の軽減</li> <li>■ 各拠点レベルでの対策・対応</li> <li>■ 主に安全関連部門・施設設備関連部門の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>重要な業務</u>(商品・サービスの供給)の継続・早期復旧【経営の観点】</li> <li>■ <u>サプライチェーン</u>での対策・対応</li> <li>■ 代替戦略を視野に入れ<u>結果事象</u>を考慮(本社が使えない、物流が止まった等)</li> </ul>
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 死傷者数</li> <li>■ 物的損害額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>目標復旧時間・復旧レベル</u></li> <li>■ <u>経営</u>ならびに<u>ステークホルダー</u>に及ぼす影響</li> </ul>

事業継続基本方針の骨子



「危機初動」で生命や会社の財産を守り  
「BCP」でお客様への供給責任を果たす



お客様への供給継続＝企業の存続意義そのもの

## 「事業継続活動」の意味合い

事業活動であるならば、出口戦略は、..活動結果をどう活かすのか？

活動に対し高評価を受け、有事への信頼をいただき<sup>2</sup>、応える<sup>1</sup>

⇒有事に受注・納品いただけること、そして取引継続・拡大、販路開拓にも繋げる

『実際に供給継続できるための有言実行による継続的な準備活動』<sup>1</sup>

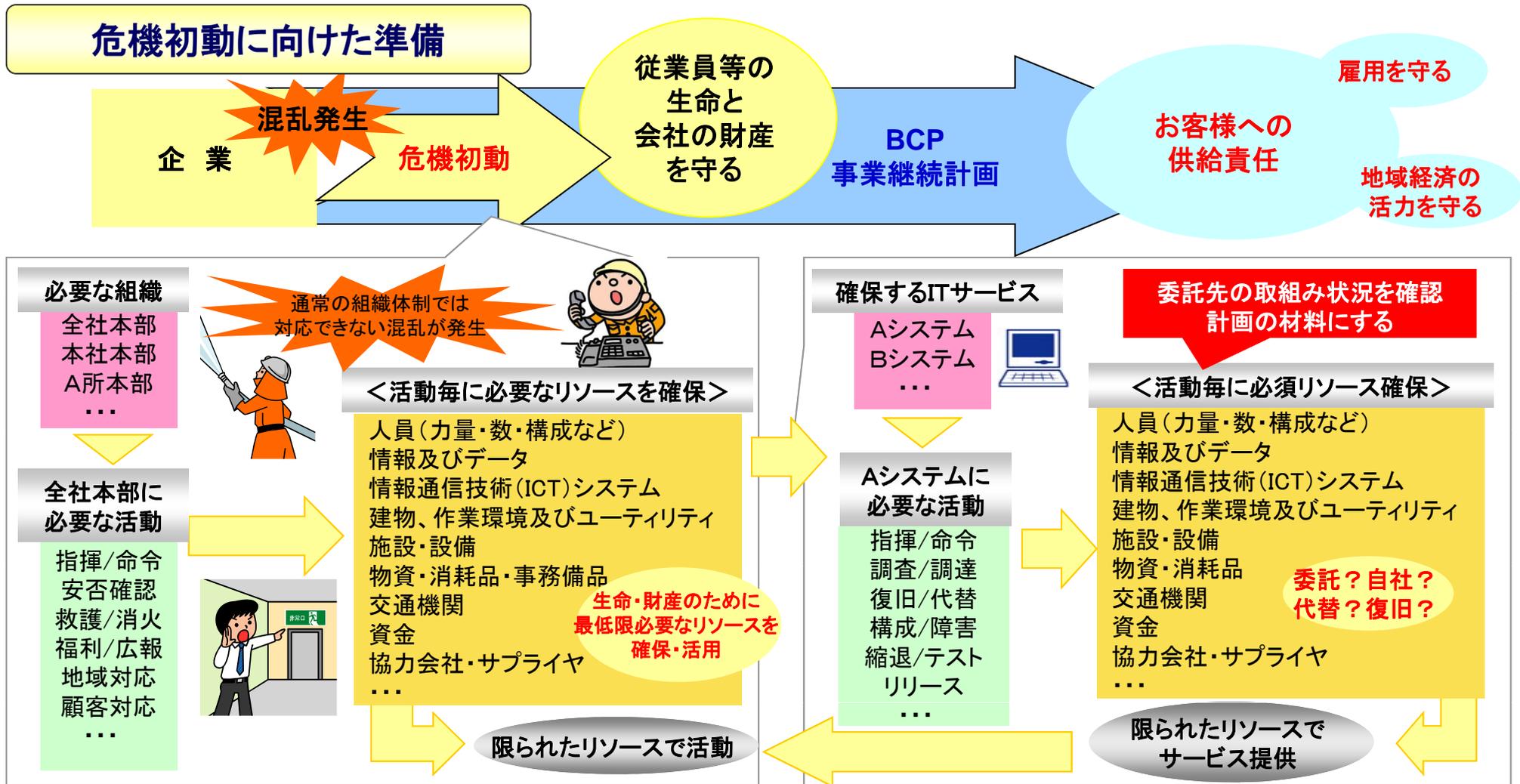
有事における出口戦略はBCPに定める

信頼にかかわる評価は、相手が行うこと<sup>2</sup>

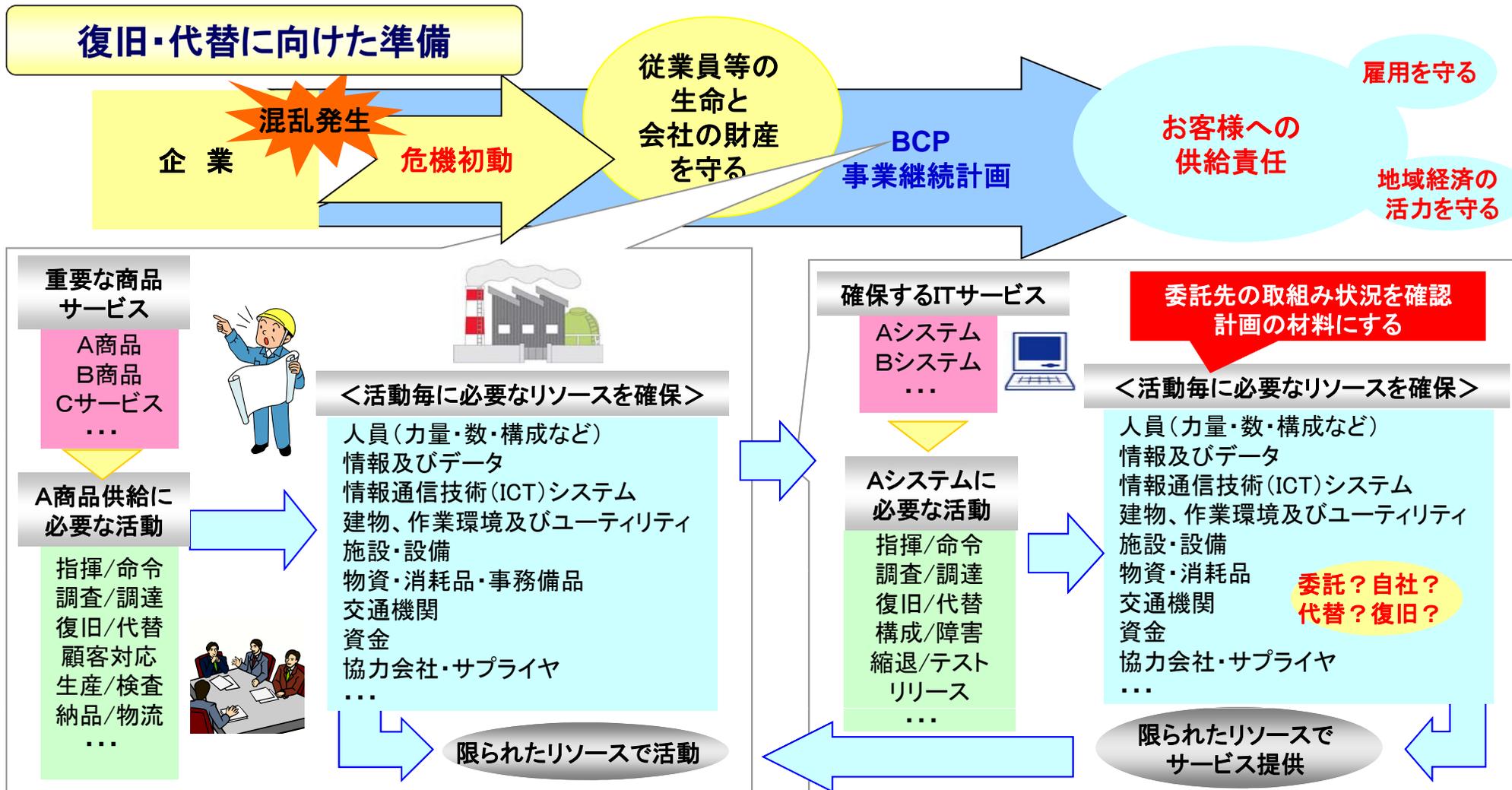
平時における出口戦略のために

諸活動を見える化し、証拠を以って説明する必要性





**危機初動の活動 ⇒ 必須リソースはすぐに確保・利用を開始し、諸活動を速やかに実施**



**復旧・代替の活動 ⇒ 諸活動の目標復旧時間から必須リソースの確保・利用策を準備**

方針の実現に向け、訓練や改善も継続して活動している状況

企業様が、お客様から『評価』を頂く場面

二者監査

調査票／アンケート

営業現場

自社の重要な商品・サービスの供給継続を事業部門がしっかりご説明

「本当に有事に大丈夫なの？」そう問われても、色々検討してきたし、これからも訓練し、検討していくからこそ、自信を持ってご説明できる  
その中で・・・

<ITサービス継続> 前頁のように少し込み入った説明が必要

⇒社内のIT管理部門も毎回召集すれば、更にご安心いただけそう・・・

⇒必須のITサービスを外部委託先に依存しているリソースも存在する・・・



<コンサルティングの現場から>

有事に本当の効果が出てほしい事業継続活動。しかし、平時において有事の効果を評価いただくのは難しい。訓練を繰り返し、改善しながら準備を進めるしかない。それでも・・・そのお取り組み自体がご評価いただける

お取引先からの高評価は嬉しいね、  
全社的にも活動が進め易く  
なってますよ。

立入監査はスムーズに  
ご説明できたよ。  
重要と考えて頑張ったところを  
喜ばれると嬉しいね。

ご発注をいただける  
過程で良い評価が得られて、  
良かったよ。

⇒真剣に取り組まれている事業継続活動が平時でも本業のお役に立てばとても嬉しい。

<推進事務局の方の声>

せっかくの事業継続活動、今後もお客様から良い評価をいただき、事業に貢献したい

⇒限られた説明時間で、更なる安心感をお客様に得ていただける方法が無いものだろうか？



方針の実現に向け、訓練や改善も継続して活動している状況

企業様が、お客様から『ご評価』を頂く場面

二者監査

調査票／アンケート

営業現場

客観性のある追加情報があれば



ITサービスの提供で収益を得ている企業

ITサービス  
専業

ITサービス  
兼業

・【活動対象に対する安心感】

多くの商品・サービスを手がける中でも証明書掲載の「ITサービス」が当該社にとっての重要なサービスの一つとされている事実の証明となる

・【活動内容に対する安心感】

証明書掲載の「ITサービス」がガイドラインの趣旨に沿い、その証明内容を包摂した事業継続活動を行っている事実の証明となる

その他企業

ITサービス  
ユーザー

・【目視出来ない離れた活動への安心感】

二者監査時などでは、証明書掲載の「ITサービス」のサイトが、社内外を問わずに離れていても、実際に活動されている事実の証明となる

ご清聴ありがとうございました。

《お問合せ先》

NKSJリスクマネジメント株式会社

ERM部 マネジメントシステムグループ 部長 落合正人

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル

Tel. 03-3349-4226 Fax.03-3349-4677

URL : <http://www.nksj-rm.co.jp/>